

「サロン・土・カフェ W」開催報告

Meeting Report of “Salon "土" Cafe W”

藤澤 久子 (ふじさわ ひさこ)
日本工営 (株)

隅倉 光博 (すみくら みつひろ)
清水建設 (株)

1. はじめに

男女共同参画およびダイバーシティに関する委員会は、「第52回地盤工学研究発表会」初日に名古屋国際会議場2号館3階ロビーにて、第7回目となる「サロン・土・カフェ W」を開催しました。ダイバーシティに関心のある様々な世代間の交流の場として、毎年、好評をいただいております。

2. 開催状況

今回のサロン・土・カフェ Wの参加人数は36名で、その内訳は男性17名、女性19名でした。今年も多くの方に参加をいただきました。

サロン・土・カフェ Wは、ワールドカフェ方式を採用しています。まず5~6名が1つのテーブルに集い、あるテーマに関して議論した後、席替えをし、また新たなテーマに関して話をするという形式です。議論といってもお菓子やお茶をいただきながらのリラックスした雰囲気の中で行うため、最初は緊張気味だった学生の参加者からも徐々に笑顔が見られました。

テーマは2つ、「1. 各機関のダイバーシティの取り組みの状況と期待する制度について」、「2. 仕事を続けるアイデアについて」としました。各テーブルにはダイバーシティ委員会の委員や元委員が、席替えをしない書記として配置され、最後に総括が行われました。

テーマ1では、学生の参加者が多い中で、各機関で現在取り組まれているダイバーシティの制度や状況などについて、今後の期待も含めて話し合っていました。大学の先生方からは、地盤の分野でも男女の差がなくなっていることが挙げられました。企業においては育児休暇取得率が100%という会社から、育休を取るよう推奨されていても、制度だけで運用がなかなか進んでいないという声もありました。学生の方からは男性ばかりでなく、女性や外国人など多様性のある職場で、横のつながりや色々な意見のある場、団結する風土のある会社がいい(入りたい)という意見があり、将来のことを考えるきっかけになったようでした。

テーマ2では、自信を持って楽しく仕事を続けるアイデアについて話し合っていました。一緒に働く仲間が重要だという意見や家族や友だちに話す、ONとOFFの切り替えが大事、など働く環境を整える考え方や、

常に新しい課題に向き合う、目標を持つ、逃げないで向き合う、やりたくないことでも楽しいと思込んでやってみる、求められる以上のことをするというポジティブな意見が多く挙がりました。働くことを楽しむために自分をいかに高めていくかという視点と、たまに落ち込んだ時には本音を出して頑張りすぎない、というアドバイスもありました。学会活動を続けてこのような出会いの機会を大切にすることが大事というご意見もいただき、今後の活動に反映させていけるようにしたいと思います。

3. おわりに

ダイバーシティの制度は、利用する人が増えるほど自分も利用してみようという正のループが出来るように思います。一方で、どこかで不満が生じると改善点も見えてくるでしょう。利用する側は感謝の気持ちを伝えていくことも大切だと思います。テーマ2は直前に開催された特別セッションからヒントをもらったものです。今の職場を離れる(退職する)ことは、仕事をやめるということではない、というメッセージがあり、仕事を続けるためにはどうしたら良いか?というテーマになりました。

なお、今回のサロン・土・カフェ Wの開催に際しては、名古屋大学の山田正太郎先生をはじめ、大会実行委員会の皆様にご多大なご尽力を頂きました。この場をお借りして御礼申し上げます。また、当日、美味しいお菓子を差し入れて下さった皆様、どうもありがとうございました。来年、高松大会でも、たくさんの皆さまにお会いできることを楽しみにしています。



写真-1 集合写真

(原稿受理 2017.8.28)